

ニュースクリップ & 映像教材

- 文化庁「平成19年度著作権セミナー」開催
 - 「IMC Tokyo 2007」
 - 「ケーブルテレビショー 2007」
 - 「『大学入試と情報』フォーラム2007」
 - 日本教育工学会シンポジウム開催
- 日本教育メディア学会・D-Project共催「2007年度第1回研究会」
- 国立科学博物館「シンポジウム アーカイブと文化の継承～高度情報社会に求められる人材～」
- 「ソニー・ムービー・ワークス2007」作品を募集

AV情報

■文化庁「平成19年度著作権セミナー」開催

文化庁では、著作権に関する基礎的な理解を深め、もって著作権制度の知識や意識の向上を図ることを目的に全国7か所に、標記セミナーを開催する。

〈期日・会場〉

- 平成19年7月30日（月）
青森県男女共同参画センター「アピオあおもり」（青森市中央3-17-1）
- 平成19年8月29日（水）
山梨県総合教育センター（山梨県笛吹市御坂町成田1456）
- 平成19年8月24日（金）
岐阜県庁大会議室（岐阜市藪田南2-1-1）
- 平成19年7月31日（火）
米子コンベンションセンター（鳥取県米子市末広町294）
- 平成19年9月5日（水）

広島県情報プラザ多目的ホール
第1研修室（広島市中区千田町3-7-47）

- 平成19年10月31日（水）
山口県職員ホール（山口市滝町1-1山口県庁内）
 - 平成20年2月29日（金）
愛媛大学（松山市道後樋又10-13）
- 〈対象〉
著作権制度を学びたい方
〈問い合わせ先〉
文化庁長官官房著作権課
TEL 03-5253-4111（内線3169）

■「IMC Tokyo 2007」

「『THE Internet』～ビジネスを加速させる為の課題の解決策がここにある～」をテーマに、IMC Tokyo 2007 実行委員会主催による標記イベントが開催される。

〈日時〉

- 平成19年6月13日（水）～15日（金）10:00～18:00 ※時間は各日による。

〈会場〉

幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬2-1）他

〈内容〉

高品質な映像、インタラクティブ性のあるコンテンツ、場所や端末に依存しないサービスなどデジタルメディアを楽しむための技術、製品やソリューションを紹介。※詳細は、<http://www.interop.jp/imc/outline/index.html>を参照。

〈問い合わせ先〉

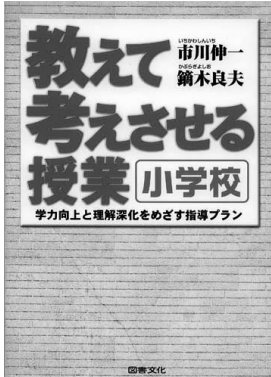
IMC Tokyo 2007コンファレンス事務局
TEL 03-5785-0635

■「ケーブルテレビショー2007」

「ケーブルテレビが応援します！あなたのデジタルライフ」をテーマに、(社)日本CATV技術協会及び(社)日本ケーブルテレビ連盟主催による標記展示会が開催される。

〈日時〉

ブックレビュー



**「教えて考えさせる授業
小学校 学力向上と理解
深化をめざす指導プラン」**

市川伸一・鍋木良夫編著
(株)図書文化社 2007年4月刊
B5判 152頁 2,100円(税込)

「教えて考えさせる授業」とは何だろうと思って、本書を読んでみて納得した。この方法は、確かに授業の実践から生まれた方法であり、理論から考えられたものではない。そして、この方法は、小学校だけでなく中学校、高等学校、大学大学院に適用できる方法でもある。

筆者の大学院授業の経験では、事前にテキストや資料を読んできて、授業では議論や発展させることがねらいになっている。なかなか読んでこない学生も多いので、盛り上がり欠ける場合もあるが、本当の議論には、共通の知識が不可欠であることを、経験的に知っている。学生との個人的な打ち合わせでは当然のことで、事前に知識がなければ議論すらできない。今日は打ち切りという事態になる。

これが、小学校で実践されたことの意義が大きい。これまでの授業スタイルは、極論すれば、わかっている、知っていても、知らないことを前提として、組み立てられていた。それは、本当の疑問をぶつける授業ではない。事前に知識を持たせ、それを深めるのが、この「教えて考えさせる授業」の提案である。

この方法を提案するには勇気が必要だったのではないかと。その勇気はどこから生じたのだろうか。それが実践であった。市川先生は、認知カウンセリングをはじめとする実践を大切にされ、私が最も尊敬する先生の一人である。また、鍋木先生はきわめて洞察力の優れた先生であることを、本書を読んで確信した。是非多くの先生方に推薦したい。(東京工業大学教授 赤堀侃司)

平成19年6月14日(木)～16日(土) 10:00～18:00

〈会場〉

東京ビッグサイト西1・2ホール、西展示棟アトリウム(東京都江東区有明3-21-1)

〈内容〉

「CATV緊急地震速報・体験コーナー」「ケーブルテレビのある暮らし」紹介ステージ「ハイビジョンホームシアター」などデモンストレーションやケーブルテレビ関連業者による機器展示等。

※入場無料。詳細は、<http://www.catv-f.com/>を参照のこと。

〈問い合わせ先〉

ケーブルテレビショー 2007実行委員会事務局

TEL 03-5369-2588

研究会情報

■「『大学入試と情報』フォーラム2007」

(社)情報処理学会・情報処理

教育委員会では、教科「情報」と大学入試の関係について、さまざまな角度から検討を行う標記フォーラム(日韓合同開催)を開催する。概要は、下記の通り。

〈日時〉

平成19年6月9日(土)
10:00～17:00

〈会場〉

東京大学小柴ホール(東京都文京区本郷7-3-1)

〈資料代〉

2,000円※資料には、大学入試センター試験「情報関係基礎」の平成16・19年の問題を含む。

〈内容〉

「大学入試センターの情報関係基礎について」筧捷彦氏(早稲田大学)、「韓国の新教育課程と問題点」Kim Seoung-Sik氏(韓国教員大学コンピュータ教育科/韓国コンピュータ教育学会会長)、「韓国の2007年度大

学入試と職業探求領域」Kim Kyung-Hoon氏(韓国教育課程評価院)、「情報活用能力の評価と大学入試における『情報』の実施例」永野和男氏(聖心女子大学)他

〈詳細・申し込み先〉

<http://sigps.tt.tuat.ac.jp/e-forum07.html>より申し込む。

■日本教育工学会シンポジウム開催

日本教育工学会(赤堀侃司会長)では、「ICTの教育利用と学力向上」等テーマに、下記の通り、シンポジウムを開催する。

〈日時〉

平成19年6月16日(土)
10:00～16:00

〈会場〉

東京工業大学大岡山キャンパス西9号館デジタル多目的ホール(東京都目黒区大岡山2-12-1)

〈参加について〉

当日9:30より受付にて、直接

申し込み。資料代500円

〈内容〉

○シンポジウム1「ICTの教育利用と学力向上」司会：永野和男氏（聖心女子大学）

○シンポジウム2「2007年以降の教員の大量退職に伴う教育現場の諸問題～若手教員の授業力向上戦略を探る～」司会：山西潤一氏（富山大学）他
〈問い合わせ先〉

日本教育工学会事務局

TEL 03-5740-9505

■日本教育メディア学会・D-Project共催「2007年度第1回研究会」

日本教育メディア学会（生田孝至会長）では、D-Project（デジタル表現研究会・中川一史会長）との共催により、「映像制作活動とメディア・リテラシー教育をどう考えるか」をテーマに、標記研究会を開催する。

日本教育メディア学会では、これまで研究の一領域としてメディア制作の教育研究に取り組んできた。一方、D-projectでは、現場教師を中心に、メディアでの表現活動による授業のデザインの研究を行ってきたが、本研究会では、それぞれが蓄積してきたメディア教育に関わる知見を相互に交流し、新しい研究の可能性を拓くことを目的としている。

〈日時〉

平成19年7月21日（土）

10:00～17:00

〈会場〉

関西大学総合情報学部高槻キャンパス（大阪府高槻市霊仙寺町2-1-1）

〈参加費〉

資料代1,000円

〈詳細・申し込み先〉

<http://www.soc.nii.ac.jp/jaems/>より、申し込む。

■国立科学博物館「シンポジウムアーカイブと文化の継承～高度情報社会に求められる人材～」

（独）国立科学博物館、NPO法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構による標記シンポジウムが下記の要領にて開催される。

〈日時〉

平成19年7月23日（月）

10:00～16:00

〈会場〉

国立科学博物館講堂（東京都台東区上野公園7-20）

〈内容〉

○シンポジウム

コーディネータ：佐々木正峰氏（国立科学博物館長）、シンポジスト：甲野正道氏（文化庁著作権課長）、早川信夫氏（NHK解説委員）、後藤忠彦氏（岐阜女子大学副学長）

○講演・発表

「デジタル・アーキビストの養成～文部科学省現代GPによる～」谷口知司氏（岐阜女子大学）、「教育における著作権処理の方法」坂井知志氏（常磐大学）、「放送番組のデジタル・アーカイブ化」他

〈定員〉

150名（先着順）

〈参加費〉

1,000円（資料代・入館料）

〈問い合わせ先〉

NPO法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構

TEL 03-5919-3401

コンクール情報

■「ソニー・ムービー・ワークス2007」作品を募集

ソニー（株）は、高校生の創造性を大きく育むことを目的に映画制作応援プロジェクト「ソニー・ムービー・ワークス2007」を開催する。これは、映像制作

を志す高校生を対象にショートムービー映像企画を募集し、プロの指導のもと、映像制作するものである。詳細は、下記の通り。

〈概要〉

「Color」をテーマにした、短編映像（10分）の作品企画を募集。ドラマ、ドキュメンタリーなどジャンルは問わない。

※選考通過者は映像制作ワークショップに参加し、自分たちで映像作品を完成させる。

〈応募締め切り〉

平成19年6月25日（月）

※当日消印有効。

〈選考・制作スケジュール〉

書類と面接による審査で10チーム選出。8月にワークショップを、9月から11月中旬にチームごとに撮影・編集作業する。

〈作品上映会〉

平成19年12月22日（土）ソニー（株）本社にて、審査・表彰と修了式を行う。

〈参加費〉

無料。※但し、一次選考通過者は、二次選考会参加に伴う交通費、昼食代等は原則として自己負担。

〈応募・問い合わせ先〉

〒150-8343 東京都渋谷区渋谷2-12-19ブラップジャパン内「ソニー・ムービー・ワークス」事務局

TEL 03-3486-8887

<http://www.sony.co.jp/SonyInfo/Environment/ForTheNextGeneration/social/movieworks/index.html>を参照のこと。

短 信

■（株）CNインターボイスは、平成19年4月末に新オフィスに移転した。

〒103-0004東京都中央区東日本橋3-3-15マウンテンビル3F

TEL 03-5847-2931

FAX 03-5847-2933